

資料目次

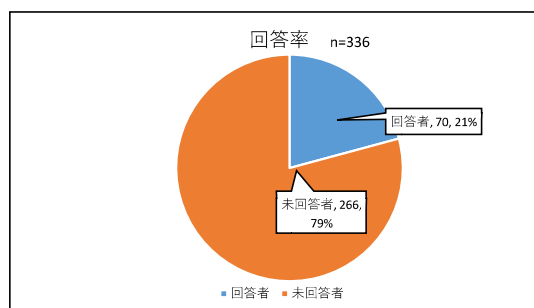
公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に関するアンケート【本学学部生対象】	2
資料1：進学意向調査結果（本学在学部生）の概要	2
資料2：公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に関するアンケート調査依頼文	6
資料3：調査票	7
資料4：大学院（博士後期課程）設置構想リーフレット	11
公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に関するアンケート【本学大学院生（修士課程）対象】	14
資料5：進学意向調査結果（本学在大学院生）の概要	14
資料6：公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に関するアンケート調査依頼文	18
資料7：調査票	19
資料8：大学院（博士後期課程）設置構想リーフレット	23
公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に関するアンケート【社会人共通対象】	26
資料9：入学意向調査結果（県内企業、商社等）の概要	26
資料10：公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に関するアンケート調査依頼文	32
資料11：調査票	34
資料12：大学院（博士後期課程）設置構想リーフレット	39
公立小松大学大学院（博士後期課程）設置構想に係るアンケート（海外協定校等）	42
資料13：入学意向調査結果（海外協定校及び共同研究関連校等）の概要	42
資料14：調査票	43
資料15：公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に関するアンケート調査依頼文	44
資料16：調査回答	45
公立小松大学大学院（博士後期課程）設置構想に係るアンケート（生産システム科学専攻）	46
資料17：採用意向調査結果（事業所）の概要	46
資料18：公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に関するアンケート調査依頼文	50
資料19：調査票	53
資料20：大学院（博士後期課程）設置構想リーフレット	58
参考資料	
参考1：石川県内に類似する分野を持つ大学院（博士後期課程）入学状況	61
資料21：「文部科学省令和3年度学校基本調査（確定値）の公表について」	62
資料22：「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」 教育未来創造会議第一次提言	64
資料23：「2020（令和2年度 外国人留学生進路状況・学位授与状況調査結果）」 独立行政法人日本学生支援機構	75

公立小松大学大学院(博士後期課程) 設置に関するアンケート【本学学部生対象】
【進学意向調査結果(本学在学部生)の概要】

1 調査概要

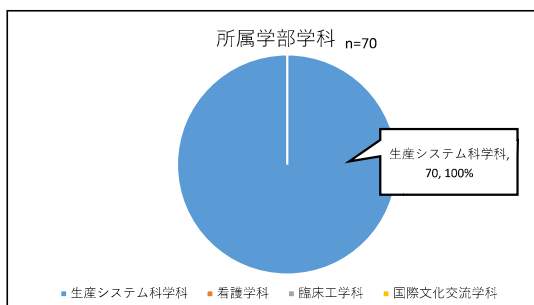
- (1) 調査主体
公立大学法人公立小松大学
- (2) 調査目的
令和6年4月に予定している「公立小松大学大学院(博士後期課程)」の設置に向けて、公立小松大学の在学学生を対象に、本学大学院(博士後期課程)生産システム科学専攻への進学意向を把握することを目的とする。
- (3) 主要調査項目
○公立小松大学大学院(博士後期課程)への現在の進学希望
○公立小松大学大学院(博士後期課程)への興味・関心理由
○公立小松大学大学院(博士後期課程)への将来的な進学希望
- (4) 調査対象
公立小松大学の学部生(生産システム科学科 1~4年生、336人)
- (5) 調査実施時期
令和4年11月
- (6) 回答状況
70人(回答率:21%)

アンケート対象(全学生)	336
回答者	70
未回答者	266



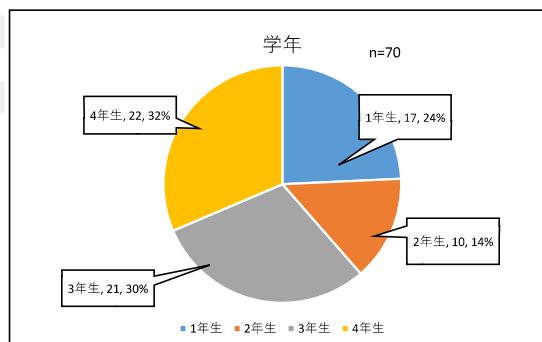
1. 所属学部学科を選択してください。

生産システム科学科	70
看護学科	
臨床工学科	
国際文化交流学科	
【内訳】	
生産(1年17人、2年10人、3年21人、4年22人)	



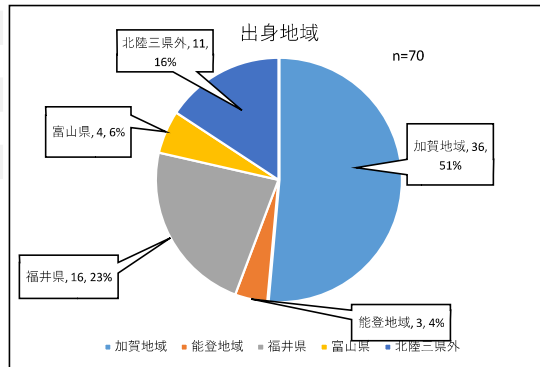
2. 学年を選択してください。

1年生	17
2年生	10
3年生	21
4年生	22
【内訳】	
生産(1年17人、2年10人、3年21人、4年22人)	



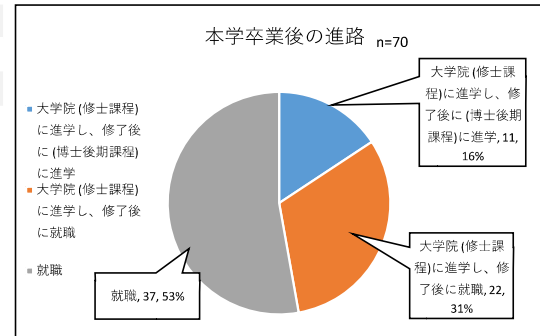
3. 出身地域を選択してください。

加賀地域	36
能登地域	3
福井県	16
富山県	4
北陸三県外	11
【内訳】	



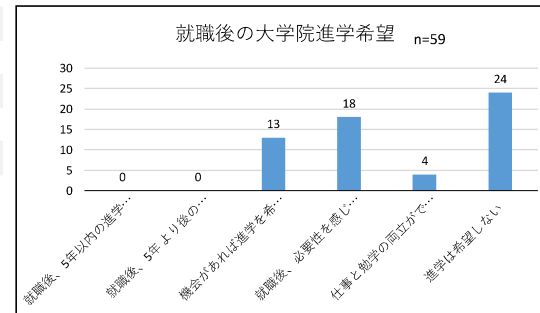
4. 本学卒業後どのような進路を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

大学院(修士課程)に進学し、修了後に(博士後期課程)に進学	11
大学院(修士課程)に進学し、修了後に就職	22
就職	37
【内訳】	
大学院進学	
生産(1年3人、2年2人、3年4人、4年2人)	11
修了後就職	
生産(1年6人、2年4人、3年4人、4年8人)	22
就職	
生産(1年8人、2年4人、3年13人、4年12人)	37



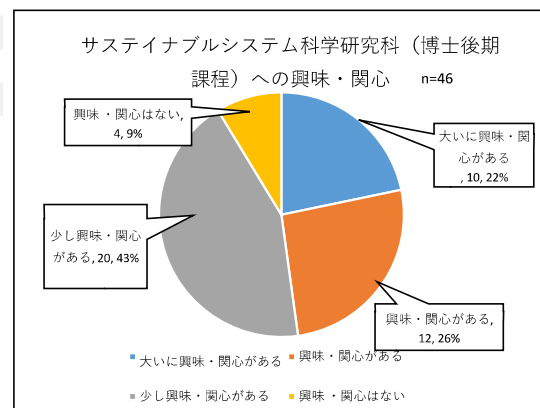
5. 就職をした後の大学院(博士後期課程)進学希望についてお尋ねします。次の中から1つ選んでください。

就職後、5年以内の進学を希望する	0
就職後、5年より後の進学を希望する	0
機会があれば進学を希望する	13
就職後、必要性を感じた場合は進学を希望する	18
仕事と勉学の両立ができれば進学を希望する	4
進学は希望しない	24
【内訳】	
5年以内の進学	
生産 0	0
機会があれば進学	
生産(1年1人、2年5人、3年4人、4年3人)	13
必要性	
生産(1年7人、2年2人、3年4人、4年5人)	18
両立	
生産(1年1人、3年3人)	4



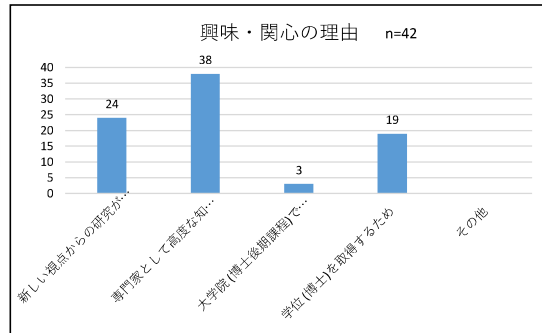
6. 令和6年(2024年)4月に設置予定の公立小松大学大学院サステナブルシステム科学研究科(博士後期課程)についてどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。

大いに興味・関心がある☑	10
興味・関心がある	12
少し興味・関心がある	20
興味・関心はない	4
【内訳】	
大いに	
生産(1年2人、2年2人、3年3人、4年3人)	10
興味	
生産(1年4人、2年2人、3年3人、4年3人)	12
少し	
生産(1年5人、2年4人、3年9人、4年2人)	20
なし	
生産(1年1人、2年1人、3年0人、4年2人)	4



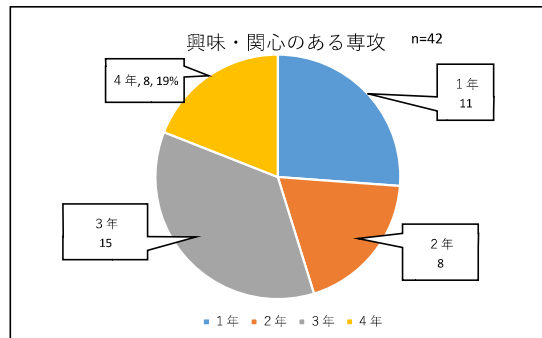
7. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。次の中から2つまで選んでください。

新しい視点からの研究ができそうだから☑	24
専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから	38
大学院(博士後期課程)で研究したいテーマがあるから	3
学位(博士)を取得するため	19
その他	



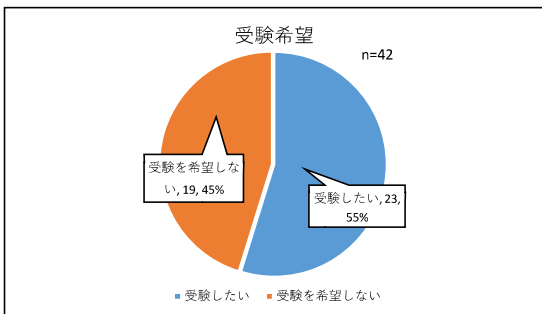
8. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。それはいずれの専攻ですか。次の中から1つ選んでください。(生産システム科学専攻)

1年	11
2年	8
3年	15
4年	8
生産(1年11人、2年8人、3年15人、4年8人)	42



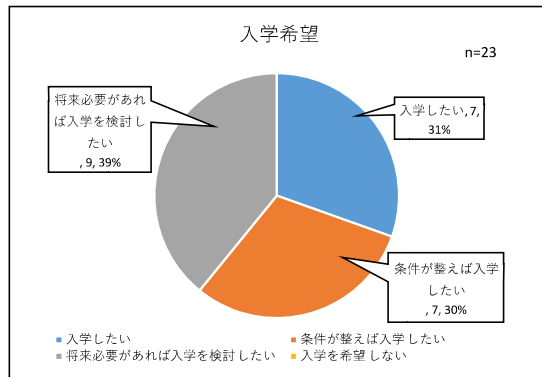
9. 本学に大学院(博士後期課程)が設置された場合、「生産システム科学専攻」を受験したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

受験したい	23
受験を希望しない	19
受験したい 生産(1年5人、2年4人、3年9人、4年5人)	



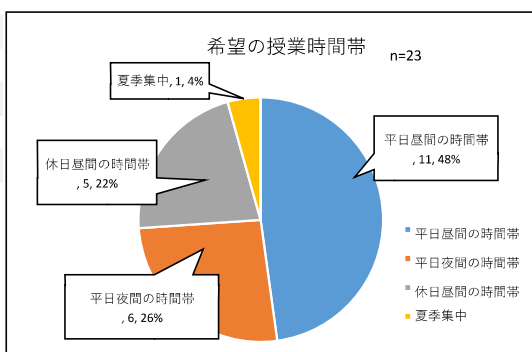
10. 生産システム科学専攻に合格した場合、入学したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

入学したい	7
条件が整えば入学したい	7
将来必要があれば入学を検討したい☑	9
入学を希望しない	0
入学したい 生産(1年1人、2年3人、3年3人、4年0人)	7
条件整えば 生産(1年2人、2年1人、3年3人、4年1人)	7
将来必要 生産(1年2人、3年3人、4年4人)	9



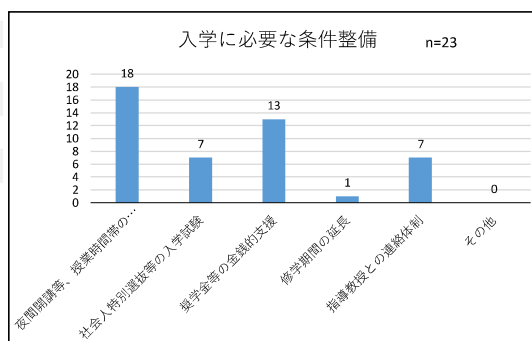
11. 「入学したい」「条件を整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。どのような時間帯に授業を履修したいとお考えですか。次の中から1つ選んでください。

平日昼間の時間帯☑	11
平日夜間の時間帯☑	6
休日昼間の時間帯☑	5
夏季集中	1
その他	0
平日昼間 (1年3人、2年1人、3年6人、4年1人)	11
平日夜間 (1年1人、2年2人、3年2人、4年1人)	6
休日昼間 (1年1人、2年1人、3年1人、4年2人)	5
夏季手中 (1年、2年、3年、4年1人)	1



12. 「入学したい」「条件を整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。職に就いたままで大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要とお考えですか。次の中から2つまで選んでください。

夜間開講等、授業時間帯の工夫	18
社会人特別選抜等の入学試験	7
奨学金等の金銭的支援	13
修学期間の延長	1
指導教授との連絡体制	7
その他	0
夜間開講 (1年4人、2年4人、3年6人、4年4人)	18
社会人選抜 (1年2人、2年1人、3年4人、4年0人)	7
奨学金 (1年2人、2年3人、3年4人、4年4人)	13
修学期間 (1年0人、2年0人、3年1人、4年0人)	1
指導教授 (1年2人、2年0人、3年3人、4年2人)	7



13. 「公立小松大学大学院」について、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

1. 大学院以前に、小松大学自体に魅力的な学科にしてい若しくは魅力的な学科を作っていく事、多くの学びを得られる環境整備をしていく事の方を優先していべきだと思います。
2. 設置してよいと思う
3. 今、私は修士に進むかも未定だが、博士課程ができれば、修士に進む人数も増えると思う。また、学内で大学院に進学するメリットや学べる内容を紹介する機会を増やすべきだと思った。

学部生用ポータル依頼文

件名：公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に係る在学生向けアンケート調査

内容：

学部生 各位





2024年4月に設置を計画している公立小松大学大学院（博士後期課程）に関するアンケート調査を実施します。以下のURLからアンケートに教えてください。

- ・このアンケートは無記名式で、結果を調査目的以外に使用することはありません。
- ・回答内容が入学に影響を及ぼすことはありません。
- ・本アンケートの締切は令和4年11月30日（水）です。

なお、アンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

URL：<https://forms.office.com/r/S34deQy9UG>

お問い合わせ先：学生課 学務・大学院担当 山崎、神田 TEL0761-41-6700

件名 	公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に係る在学生向けアンケート調査 <input type="checkbox"/> 重要（掲示／メールに重要マークが設定されます。）
差出人 	大学院担当 <input type="checkbox"/> メール返信を許可する <input type="text" value="返信先メールアドレスを入力"/> ※配信したメールにユーザが返信する場合、入力したアドレスが返信先となります。
差出人 	掲示／メール共通エリア 定型文選択 <hr/> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>B I U  x_2 x^2 T_1              </p> <p>学部生（全学科1～4年生） 各位</p> <p>2024年4月に設置を計画している公立小松大学大学院（博士後期課程）に関するアンケート調査を実施します。以下のURLからアンケートに教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートは無記名式で、結果を調査目的以外に使用することはありません。 ・回答内容が入学に影響を及ぼすことはありません。 ・本アンケートの締切は令和4年11月30日（水）です。 <p>なお、アンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。</p> <p>URL：https://forms.office.com/r/JB9Pe4T26U</p> <p>お問い合わせ先：事務局 山崎、神田 TEL0761-41-6700</p> </div>

（ポータルサイトによる依頼文配信画面）

(学部生用) 公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科 (博士後期課程) 設置に関するアンケート調査

在学生を対象に、2024年4月に設置を計画している公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科 (博士後期課程) に関し、以下のアンケートを実施します。ご協力をお願いします。回答内容が入学に影響を及ぼすことはありません。アンケートに関するお問い合わせは大学院担当 山崎、神田までお願いします。



* 必須

あなたの所属をお尋ねします。

1. 所属学部学科を選んでください。*

- 生産システム科学部 生産システム科学科
- 保健医療学部 看護学科
- 保健医療学部 臨床工学科
- 国際文化交流学部 国際文化交流学科

2. 学年を選んでください*

- 1年生
- 2年生
- 3年生
- 4年生

3. 出身地域を選んでください。*

- 加賀地域 (小松市、加賀市、能美市、川北町、白山市、野々市市、金沢市、かほく市、内灘町、津幡町)
- 能登地域 (羽咋市、七尾市、宝達志水町、中能登町、志賀町、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町)
- 福井県
- 富山県
- 北陸3県以外

次へ

* 必須

卒業後の進路希望および設置計画中の公立小松大学大学院 (博士後期課程) についてお尋ねします。

以下のサステイナブルシステム科学研究科 (博士後期課程) 設置構想リーフレットをご覧ください。
URL : https://www.komatsu-u.ac.jp/graduate_school_plan.pdf

4. 本学卒業後どのような進路を希望しますか。次の中から1つ選んでください。 *

- 大学院 (修士課程) に進学し、修了後に (博士後期課程) に進学
- 大学院 (修士課程) に進学し、修了後に就職
- 就職

5. 就職をした後の大学院 (博士後期課程) 進学希望についてお尋ねします。次の中から1つ選んでください。 *

- 就職後、5年以内の進学を希望する
- 就職後、5年より後の進学を希望する
- 機会があれば進学を希望する
- 就職後、必要性を感じた場合は進学を希望する
- 仕事と勉学の両立ができれば進学を希望する
- 進学は希望しない

6. 令和6年 (2024年) 4月に設置予定の公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科 (博士後期課程) についてどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。 *

- 大いに興味・関心がある
- 興味・関心がある
- 少し興味・関心がある
- 興味・関心はない

7. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。次の中から2つまで選んでください。*



2個のオプションを選択してください。

- 新しい視点からの研究ができそうだから
- 専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから
- 大学院（博士後期課程）で研究したいテーマがあるから
- 学位（博士）を取得するため
- その他

8. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。それはいずれの専攻ですか。次の中から1つ選んでください。*

- 生産システム科学専攻
- ヘルスケアシステム科学専攻
- グローカル文化化学専攻

9. 本学に大学院（博士後期課程）が設置された場合、「生産システム科学専攻」を受験したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。*

- 受験したい
- 受験を希望しない

10. 生産システム科学専攻に合格した場合、入学したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。*

- 入学したい
- 条件が整えば入学したい
- 将来必要があれば入学を検討したい
- 入学を希望しない

11. 「入学したい」「条件を整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。どのような時間帯に授業を履修したいとお考えですか。次の中から1つ選んでください。*

平日昼間の時間帯

平日夜間の時間帯

休日昼間の時間帯

夏季集中

その他

12. 「入学したい」「条件を整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。職に就いたままで大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要とお考えですか。次の中から2つまで選んでください。*

2個のオプションを選択してください。

夜間開講等、授業時間帯の工夫

社会人特別選抜等の入学試験

奨学金等の金銭的支援

修学期間の延長

指導教授との連絡体制

その他

13. 公立小松大学大学院（博士後期課程）の設置計画について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください

回答を入力してください

戻る

送信

（仮称）公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科（博士後期課程）

・生産システム科学専攻 ・ヘルスケアシステム科学専攻 ・グローバル文化化学専攻

令和6年（2024年）4月設置予定

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

概要

設置年月：令和6年（2024年）4月予定

設置場所：石川県小松市四丁町ヌ1番地3（本部）

名称：サステイナブルシステム科学研究科 生産システム科学専攻（博士後期課程）
ヘルスケアシステム科学専攻（博士後期課程） グローバル文化化学専攻（博士後期課程）

修業年限：3年 入学時期：4月

定員：生産システム科学専攻 2名、ヘルスケアシステム科学専攻 1名、グローバル文化化学専攻 1名

学位：博士（工学）、博士（保健学）、博士（国際文化学）

設置の理念

本学が立地する地域の諸問題の解決への道筋を探索すると同時に、日本及び世界の各地域に普遍的に存在する諸課題を抽出し、各専攻分野に固有な専門的方法論を駆使し、それらの分析と解決への方向性を提案し、地域と国際社会の持続的発展に貢献しうる高度専門人、教育研究者、組織的指導者の育成を目指し、教育研究を推進する。

養成する人材像

「課題発見解決能力、社会実装力を備えた次世代人材」、「地域産業の高度化、地域発イノベーション等を担う高度人材」、「未来を支える教育者、研究者、組織指導者」、「『総合知』に立脚し、高度な専門能力を備えた人材」などの人材を育成し、「地域・国際社会へのサステナビリティへの貢献」をめざす。

教育研究の特色

①養成する人材像 ②開講予定科目 ③想定される修了後の進路

・生産システム科学専攻〔学位：博士（工学）〕

①持続的な社会の創造に対する意識および、サプライチェーンの不確実性などの社会情勢の変化に対する関心を常に持ちながら「ものづくり」による社会貢献を達成することが重要である。その下で「ものづくり」についての課題を見出し、専門的および学際的学識を修得して持続可能な社会に貢献する製品やシステムの研究、開発、生産プロセスの構築など、多様な方面で活躍できる人材育成をめざす。

②「環境熱流体解析学特論」、「先端製造テクノロジー特論」、「最適構造制御特論」、「先進IoT・AI特論」、「システム情報科学特論」

③製造業、エネルギー・材料関連産業、建設業、自動車・交通関連産業、高等教育研究機関、企業等研究所、地方公共団体・行政機関、研究職、設計開発職、生産管理職、大学教員、行政専門職など。



「トンネル火災実証実験室」

・ヘルスケアシステム科学専攻〔学位：博士（保健学）〕

①持続的に発展できるコミュニティヘルスケアを構築するために、健康と福祉に関する知識や研究能力を活用しかつ他分野の専門家とも積極的に協働していくことで、コミュニティヘルスケアに関する現存の課題の解決策を提案している高度専門職業人、研究者、および大学教員の育成をめざす。

②「コミュニティヘルスケア概論A」、「コミュニティヘルスケア概論B」、「コミュニティヘルスケアとユビキタス医工学特論」、「医療と多文化共生特論」

③保健福祉機関、病院、介護・リハビリテーション施設、医療機器・介護支援ハード&ソフトウェアメーカー、国際保健医療機関、高等教育研究機関、地方公共団体・行政機関、看護師、臨床工学技士、システム開発者、メディカル・リプレゼンタティブ（MR）、大学教員、行政専門職、研究者、医療施設の経営者など。



「人工心肺装置」

・グローバル文化学専攻〔学位：博士（国際文化学）〕

- ①南加賀および北陸に軸足を置き、アジアを中心とした国際文化研究と連動させ、専門知識の深化と普遍的な思考、さらには分野を超えた専門的なスキルを有する人材を社会に送り出す。同時に、地域・国際課題を発見し、それを横断的・複眼的な視座から解決を試み、エシカルな行動様式を意識しながら、地域を活性化できる人材育成をめざす。
- ②「南加賀・北陸文化資源特論」、「国際文化学特論 A」、「国際文化学特論 B」、「グローバル文化学特論 A」、「グローバル文化学特論 B」
- ③情報産業、流通・製造業、総合商社、観光・旅行業、航空・交通業界、金融機関、マスコミ・出版関係企業、文化資源関係機関、国際機関、高等教育研究機関、地方公共団体・行政機関、国内外ビジネスパーソン、国際機関職員、起業家、ツアープランナー、通訳、大学教員、行政機関の専門職など。



「ティカル遺跡(グアテマラ)」

●社会人に対する配慮

本研究科博士後期課程では、仕事に従事しながら学修を望む方への学修機会の提供を目的とし、社会人学生を積極的に受け入れています。長期履修学生制度及び昼夜開講制度を設け、在職のまま学びやすい環境を整えています。

- ・修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができ、在職のまま学びやすくなるよう配慮します。(長期履修学生制度)
- ・大学院設置基準第14条に規定する教育方法の特例に基づき、夜間等に履修できるように配慮します。(昼夜開講制)

●学生納付金（予定）

入学料：(市内者) 282,000 円、(その他) 423,000 円 授業料：(年間) 585,800 円
 ※授業料減免・奨学金制度もあり

●競合する研究科の名称等

本研究科と類似する近隣大学院博士後期課程の納付金

生産システム科学専攻

大学院名	研究科名	専攻名	入学金	授業料等
金沢大学大学院	自然科学研究科	自然システム学専攻	282,000 円	535,800 円
金沢工業大学大学院	工学研究科	機械工学専攻 情報工学専攻 電気電子工学専攻	250,000 円	1,011,000 円
北陸先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	282,000 円	535,800 円

ヘルスケアシステム科学専攻

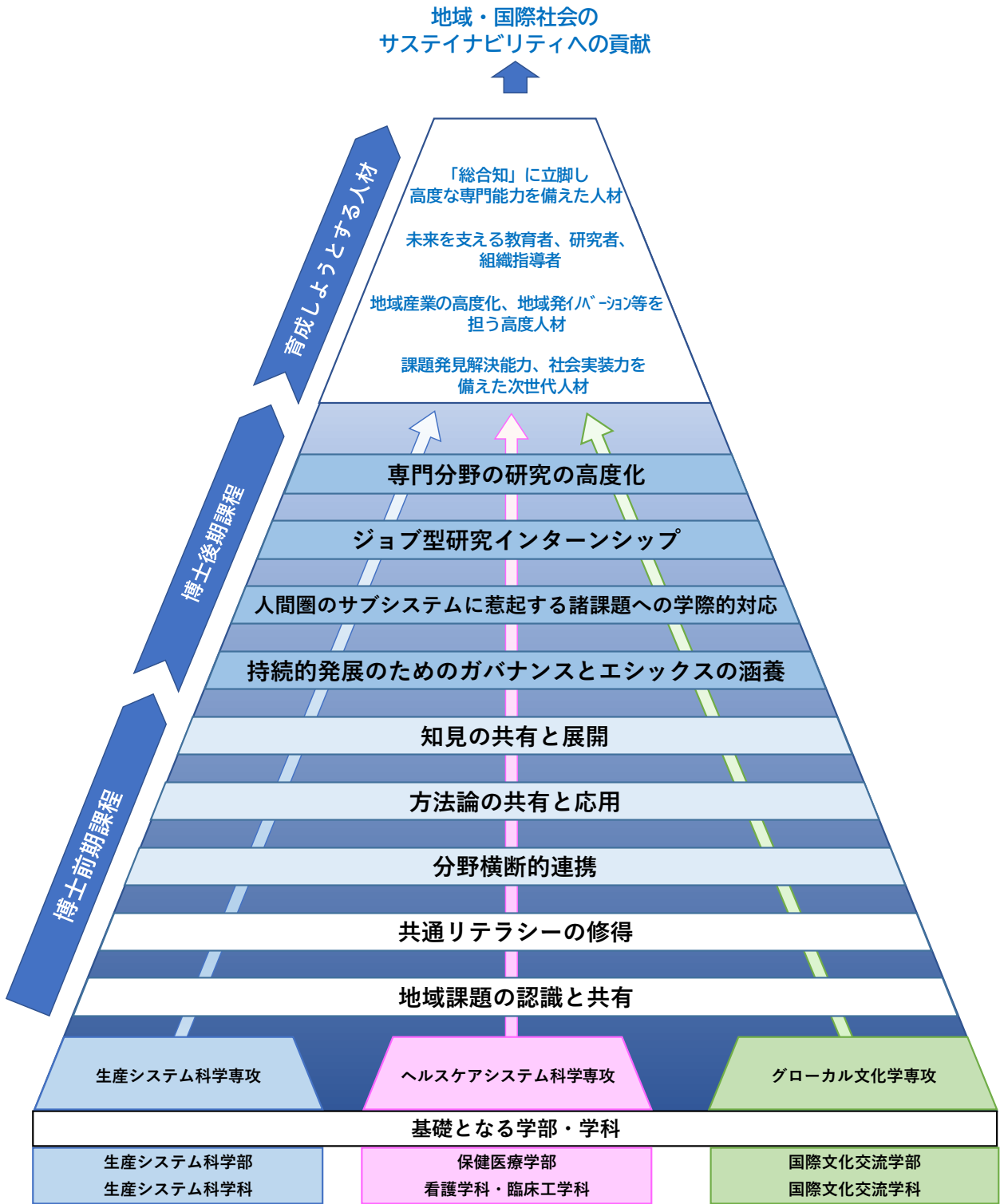
大学院名	研究科名	専攻名	入学金	授業料等
金沢大学大学院	医薬保健学総合研究科	保健学専攻 医学専攻	282,000 円	535,800 円
石川県立看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	(県内) 282,000 円 (県外) 423,000 円	535,800 円

グローバル文化学専攻

大学院名	研究科名	専攻名	入学金	授業料等
金沢大学大学院	人間社会環境研究科	人間社会環境学専攻	282,000 円	535,800 円

●設置場所（アクセス）

- ・栗津キャンパス 石川県小松市四丁町又1番地3 (JR 栗津駅より徒歩で約12分)
- ・末広キャンパス 石川県小松市向本折町へ14番地1 (JR 小松駅より徒歩で約23分)
- ・中央キャンパス 石川県小松市土居原町10-10 (JR 小松駅より徒歩で約1分)



サステイナブルシステム科学研究科博士課程における教育課程編成の考え方

公立小松大学大学院(博士後期課程) 設置に関するアンケート【本学大学院生対象】
【進学意向調査結果（本学在大学院生）の概要】

1 調査概要

(1) 調査主体

公立大学法人公立小松大学

(2) 調査目的

令和6年4月に予定している「公立小松大学大学院（博士後期課程）」の設置に向けて、公立小松大学大学院（修士課程）生産システム科学専攻の大学院生を対象に、本学大学院（博士後期課程）への進学意向を把握することを目的とする。

(3) 主要調査項目

- 公立小松大学大学院（博士後期課程）への現在の進学希望
- 公立小松大学大学院（博士後期課程）への興味・関心理由
- 公立小松大学大学院（博士後期課程）への将来的な進学希望

(4) 調査対象

公立小松大学の大学院生（生産システム科学専攻 1年生16人）

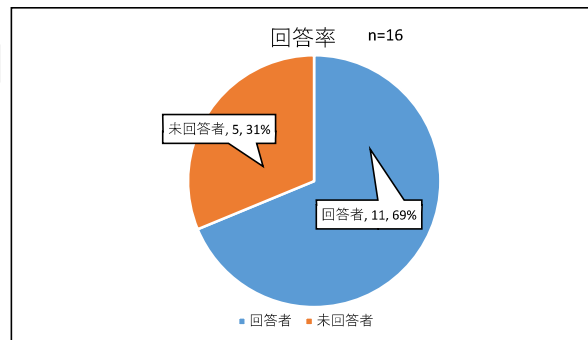
(5) 調査実施時期

令和4年11月

(6) 回答状況

11人（回答率：69%）

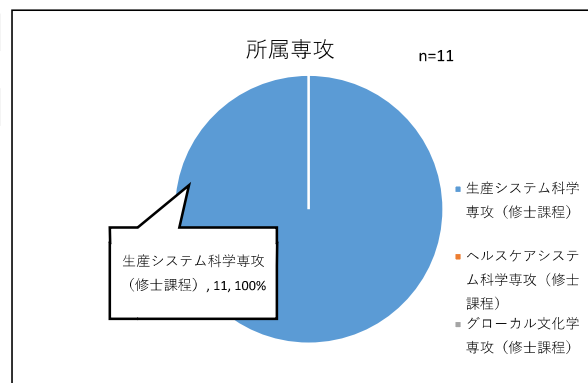
アンケート対象（全学生）	16
回答者	11
未回答者	5



1. 所属専攻名を選んでください。

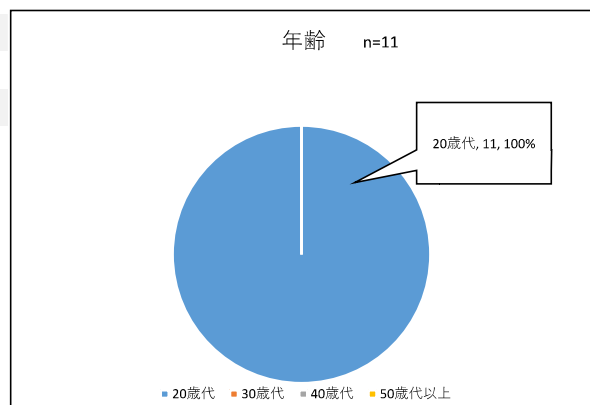
生産システム科学専攻（修士課程）	11
ヘルスケアシステム科学専攻（修士課程）	
グローバル文化学専攻（修士課程）	

【内訳】



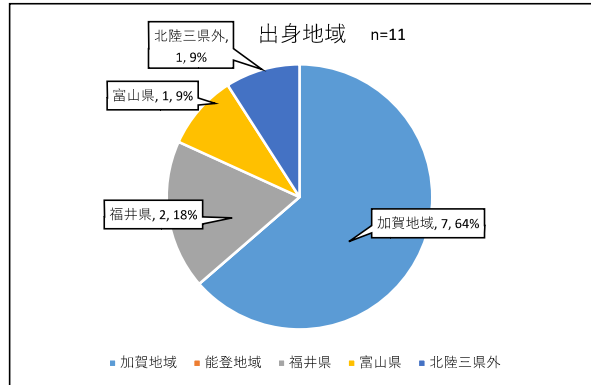
2. あなたの年齢についてお尋ねします。次の中から1つ選んでください。

20歳代	11
30歳代	0
40歳代	0
50歳代以上	0



3. 出身地域を選択してください。

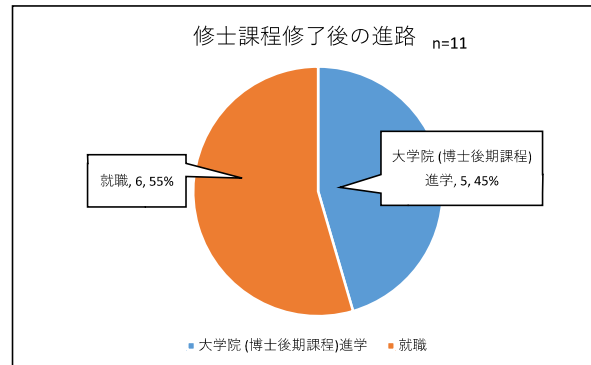
加賀地域	7
能登地域	0
福井県	2
富山県	1
北陸三県外	1



4. 本学大学院サステナブルシステム科学研究科 (修士課程)修了後どのような進路を希望しますか。

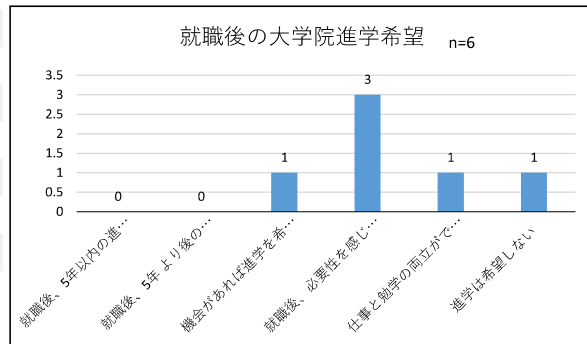
次の中から 1つ選んでください。

大学院 (博士後期課程)進学	5
就職	6



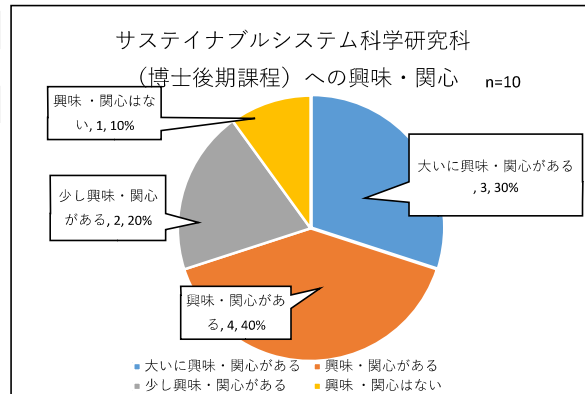
5. 就職をした後の大学院 (博士後期課程)進学希望についてお尋ねします。次の中から 1つ選☑️てください。

就職後、5年以内の進学を希望する	0
就職後、5年より後の進学を希望する	0
機会があれば進学を希望する	1
就職後、必要性を感じた場合は進学を希望する	3
仕事と勉学の両立ができれば進学を希望する	1
進学は希望しない	1



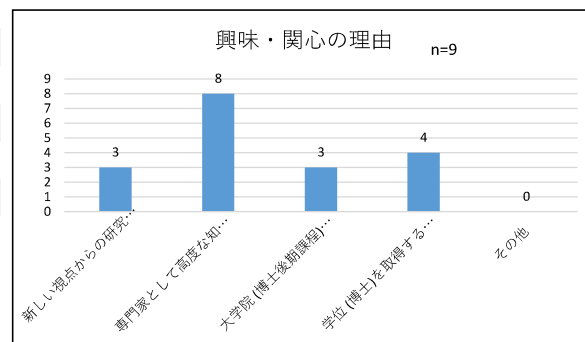
6. 令和6年(2024年)4月に設置予定の公立小松大学大学院サステナブルシステム科学研究科(博士後期課程)についてどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。

大いに興味・関心がある☑	3
興味・関心がある	4
少し興味・関心がある	2
興味・関心はない	1
無回答	1名



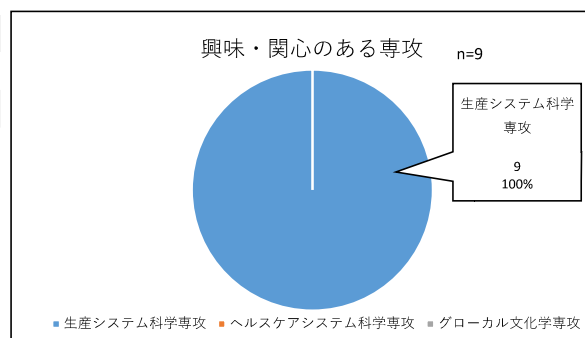
7. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。次の中から2つまで選んでください。

新しい視点からの研究ができそうだから☑	3
専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから	8
大学院(博士後期課程)で研究したいテーマがあるから	3
学位(博士)を取得するため	4
その他	0



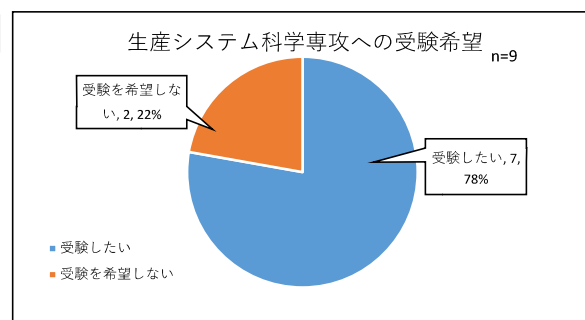
8. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。それはいずれの専攻ですか。次の中から1つ選んでください。

生産システム科学専攻☑	9
ヘルスケアシステム科学専攻	
グローバル文化化学専攻	



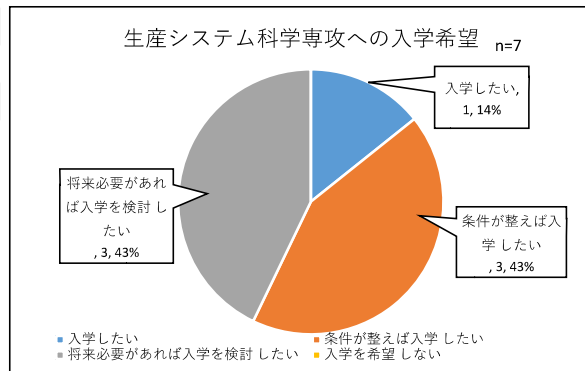
9. 本学に大学院(博士後期課程)が設置された場合、「生産システム科学専攻」を受験したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

受験したい	7
受験を希望しない	2



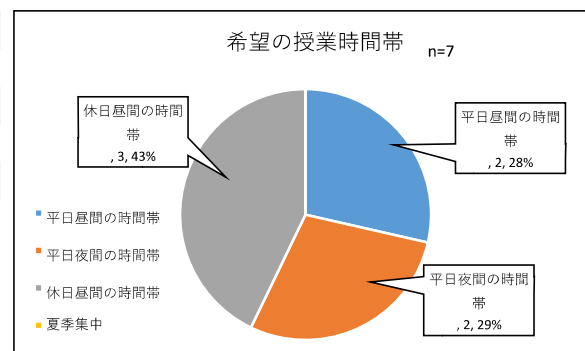
10. 生産システム科学専攻に合格した場合、入学したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

入学したい	1
条件が整えば入学したい☑	3
将来必要があれば入学を検討したい☑	3
入学を希望しない	0



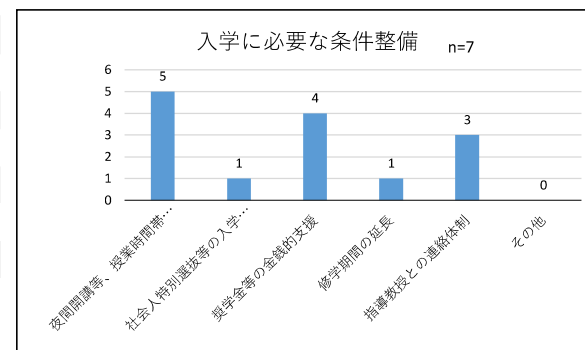
11. 「入学したい」「条件が整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。どのような時間帯に授業を履修したいとお考えですか。次の中から1つ選んでください。

平日昼間の時間帯☑	2
平日夜間の時間帯☑	2
休日昼間の時間帯☑	3
夏季集中	0
その他	0



12. 「入学したい」「条件が整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。職に就いたままで大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要とお考えですか。次の中から2つまで選んでください。

夜間開講等、授業時間帯の工夫	5
社会人特別選抜等の入学試験	1
奨学金等の金銭的支援	4
修学期間の延長	1
指導教授との連絡体制	3
その他	0



13. 「公立小松大学大学院」について、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

大学院生用ポータル依頼文

件名：公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に係る在学生向けアンケート調査

内容：

大学院生 各位

2024年4月に設置を計画している公立小松大学大学院（博士後期課程）に関するアンケート調査を実施します。以下のURLからアンケートに答えてください。

- ・このアンケートは無記名式で、結果を調査目的以外に使用することはありません。
- ・回答内容が入学に影響を及ぼすことはありません。
- ・本アンケートの締切は令和4年11月30日（水）です。

なお、アンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

URL：<https://forms.office.com/r/qaLTia6Urp>

お問い合わせ先：学生課 学務・大学院担当 山崎、神田 TEL0761-41-6700

件名 ✔	公立小松大学大学院（博士後期課程）設置に係る在学生向けアンケート調査 <input type="checkbox"/> 重要（掲示／メールに重要マークが設定されます。）
差出人 ✔	大学院担当 <input type="checkbox"/> メール返信を許可する <input type="text" value="返信先メールアドレスを入力"/> ※配信したメールにユーザが返信する場合、入力したアドレスが返信先となります。
	<p>掲示／メール共通エリア</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="margin: 0;">B I U x_2 x^2 Tl </p> </div> <p>大学院生 各位</p> <p>2024年4月に設置を計画している公立小松大学大学院（博士後期課程）に関するアンケート調査を実施します。以下のURLからアンケートに答えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートは無記名式で、結果を調査目的以外に使用することはありません。 ・回答内容が入学に影響を及ぼすことはありません。 ・本アンケートの締切は令和4年11月30日（水）です。 <p>なお、アンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。</p> <p>URL：https://forms.office.com/r/qaLTia6Urp</p> <p>お問い合わせ先：事務局 山崎、神田 TEL0761-41-6700</p>

（ポータルサイトによる依頼文配信画面）

(大学院生用) 公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科 (博士後期課程) 設置に関するアンケート調査

在学生を対象に、2024年4月に設置を計画している公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科 (博士後期課程) に関し、以下のアンケートを実施します。ご協力をお願いします。回答内容が入学に影響を及ぼすことはありません。アンケートに関するお問い合わせは大学院担当 山崎、神田までお願いします。



* 必須

あなたの所属をお尋ねします。

1. 所属専攻名を選んでください。*

- 生産システム科学専攻 (修士課程)
- ヘルスケアシステム科学専攻 (修士課程)
- グローカル文化学専攻 (修士課程)

2. あなたの年齢についてお尋ねします。次の中から1つを選んでください。*

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳以上

3. 出身地域を選んでください。*

- 加賀地域 (小松市、加賀市、能美市、川北町、白山市、野々市市、金沢市、かほく市、内灘町、津幡町)
- 能登地域 (羽咋市、七尾市、宝達志水町、中能登町、志賀町、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町)
- 福井県
- 富山県
- 北陸3県以外

次へ

* 必須

修士課程修了後の進路希望および設置計画中の公立小松大学大学院（博士後期課程）についてお尋ねします。

以下のサステイナブルシステム科学研究科（博士後期課程）設置構想リーフレットをご覧ください。
URL : https://www.komatsu-u.ac.jp/graduate_school_plan.pdf

4. 本学大学院サステイナブルシステム科学研究科（修士課程）修了後どのような進路を希望しますか。次の中から1つ選んでください。*

- 大学院（博士後期課程）進学
- 就職

5. 就職をした後の大学院（博士後期課程）進学希望についてお尋ねします。次の中から1つ選んでください。*

- 就職後、5年以内の進学を希望する
- 就職後、5年以後の進学を希望する
- 機会があれば進学を希望する
- 就職後、必要性を感じた場合は進学を希望する
- 仕事と勉学の両立ができれば進学を希望する
- 進学は希望しない

6. 令和6年（2024年）4月に設置予定の公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科（博士後期課程）についてどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。*

- 大いに興味・関心がある
- 興味・関心がある
- 少し興味・関心がある
- 興味・関心はない

7. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。それは、どのような理由からですか。次の中から2つまで選んでください。*



2個のオプションを選択してください。

- 新しい視点からの研究ができそうだから
- 専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから
- 大学院（博士後期課程）で研究したいテーマがあるから
- 学位（博士）を取得するため
- その他

8. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。それはいずれの専攻ですか。次の中から1つ選んでください。*


- 生産システム科学専攻
- ヘルスケアシステム科学専攻
- グローカル文化学専攻

9. 本学に大学院（博士後期課程）が設置された場合、「生産システム科学専攻」を受験したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。*

- 受験したい
- 受験を希望しない

10. 生産システム科学専攻に合格した場合、入学したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。*

- 入学したい
- 条件が整えば入学したい
- 将来必要があれば入学を検討したい
- 入学を希望しない

11. 「入学したい」「条件が整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。どのような時間帯に授業を履修したいとお考えですか。次の中から1つ選んでください。* 

平日昼間の時間帯

平日夜間の時間帯

休日昼間の時間帯

夏季集中

その他

12. 「入学したい」「条件が整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。職に就いたままで大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要とお考えですか。次の中から2つまで選んでください。*

2個のオプションを選択してください。

夜間開講等、授業時間帯の工夫

社会人特別選抜等の入学試験

奨学金等の金銭的支援

修学期間の延長

指導教授との連絡体制

その他

13. 公立小松大学大学院（博士後期課程）の設置計画について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください

回答を入力してください

戻る

送信

（仮称）公立小松大学大学院サステナブルシステム科学研究科（博士後期課程）

・生産システム科学専攻 ・ヘルスケアシステム科学専攻 ・グローバル文化化学専攻

令和6年（2024年）4月設置予定

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

概要

設置年月：令和6年（2024年）4月予定

設置場所：石川県小松市四丁町ヌ1番地3（本部）

名称：サステナブルシステム科学研究科 生産システム科学専攻（博士後期課程）
ヘルスケアシステム科学専攻（博士後期課程） グローバル文化化学専攻（博士後期課程）

修業年限：3年 入学時期：4月

定員：生産システム科学専攻 2名、ヘルスケアシステム科学専攻 1名、グローバル文化化学専攻 1名

学位：博士（工学）、博士（保健学）、博士（国際文化学）

設置の理念

本学が立地する地域の諸問題の解決への道筋を探求すると同時に、日本及び世界の各地域に普遍的に存在する諸課題を抽出し、各専攻分野に固有な専門的方法論を駆使し、それらの分析と解決への方向性を提案し、地域と国際社会の持続的発展に貢献しうる高度専門人、教育研究者、組織的指導者の育成を目指し、教育研究を推進する。

養成する人材像

「課題発見解決能力、社会実装力を備えた次世代人材」、「地域産業の高度化、地域発イノベーション等を担う高度人材」、「未来を支える教育者、研究者、組織指導者」、「『総合知』に立脚し、高度な専門能力を備えた人材」などの人材を育成し、「地域・国際社会へのサステナビリティへの貢献」をめざす。

教育研究の特色

①養成する人材像 ②開講予定科目 ③想定される修了後の進路

・生産システム科学専攻〔学位：博士（工学）〕

①持続的な社会の創造に対する意識および、サプライチェーンの不確実性などの社会情勢の変化に対する関心を常に持ちながら「ものづくり」による社会貢献を達成することが重要である。その下で「ものづくり」についての課題を見出し、専門的および学際的学識を修得して持続可能な社会に貢献する製品やシステムの研究、開発、生産プロセスの構築など、多様な方面で活躍できる人材育成をめざす。

②「環境熱流体解析学特論」、「先端製造テクノロジー特論」、「最適構造制御特論」、「先進IoT・AI特論」、「システム情報科学特論」

③製造業、エネルギー・材料関連産業、建設業、自動車・交通関連産業、高等教育研究機関、企業等研究所、地方公共団体・行政機関、研究職、設計開発職、生産管理職、大学教員、行政専門職など。



「トンネル火災実証実験室」

・ヘルスケアシステム科学専攻〔学位：博士（保健学）〕

①持続的に発展できるコミュニティヘルスケアを構築するために、健康と福祉に関する知識や研究能力を活用しかつ他分野の専門家とも積極的に協働していくことで、コミュニティヘルスケアに関する現存の課題の解決策を提案している高度専門職業人、研究者、および大学教員の育成をめざす。

②「コミュニティヘルスケア概論A」、「コミュニティヘルスケア概論B」、「コミュニティヘルスケアとユビキタス医工学特論」、「医療と多文化共生特論」

③保健福祉機関、病院、介護・リハビリテーション施設、医療機器・介護支援ハード&ソフトウェアメーカー、国際保健医療機関、高等教育研究機関、地方公共団体・行政機関、看護師、臨床工学技士、システム開発者、メディカル・リプレゼンタティブ（MR）、大学教員、行政専門職、研究者、医療施設の経営者など。



「人工心肺装置」

・グローバル文化学専攻〔学位：博士（国際文化学）〕

- ①南加賀および北陸に軸足を置き、アジアを中心とした国際文化研究と連動させ、専門知識の深化と普遍的な思考、さらには分野を超えた専門的なスキルを有する人材を社会に送り出す。同時に、地域・国際課題を発見し、それを横断的・複眼的な視座から解決を試み、エシカルな行動様式を意識しながら、地域を活性化できる人材育成をめざす。
- ②「南加賀・北陸文化資源特論」、「国際文化学特論 A」、「国際文化学特論 B」、「グローバル文化学特論 A」、「グローバル文化学特論 B」
- ③情報産業、流通・製造業、総合商社、観光・旅行業、航空・交通業界、金融機関、マスコミ・出版関係企業、文化資源関係機関、国際機関、高等教育研究機関、地方公共団体・行政機関、国内外ビジネスパーソン、国際機関職員、起業家、ツアープランナー、通訳、大学教員、行政機関の専門職など。



「ティカル遺跡(グアテマラ)」

●社会人に対する配慮

本研究科博士後期課程では、仕事に従事しながら学修を望む方への学修機会の提供を目的とし、社会人学生を積極的に受け入れています。長期履修学生制度及び昼夜開講制度を設け、在職のまま学びやすい環境を整えています。

- ・修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができ、在職のまま学びやすくなるよう配慮します。(長期履修学生制度)
- ・大学院設置基準第14条に規定する教育方法の特例に基づき、夜間等に履修できるように配慮します。(昼夜開講制)

●学生納付金（予定）

入学料：(市内者) 282,000 円、(その他) 423,000 円 授業料：(年間) 585,800 円
 ※授業料減免・奨学金制度もあり

●競合する研究科の名称等

本研究科と類似する近隣大学院博士後期課程の納付金

生産システム科学専攻

大学院名	研究科名	専攻名	入学金	授業料等
金沢大学大学院	自然科学研究科	自然システム学専攻	282,000 円	535,800 円
金沢工業大学大学院	工学研究科	機械工学専攻 情報工学専攻 電気電子工学専攻	250,000 円	1,011,000 円
北陸先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	282,000 円	535,800 円

ヘルスケアシステム科学専攻

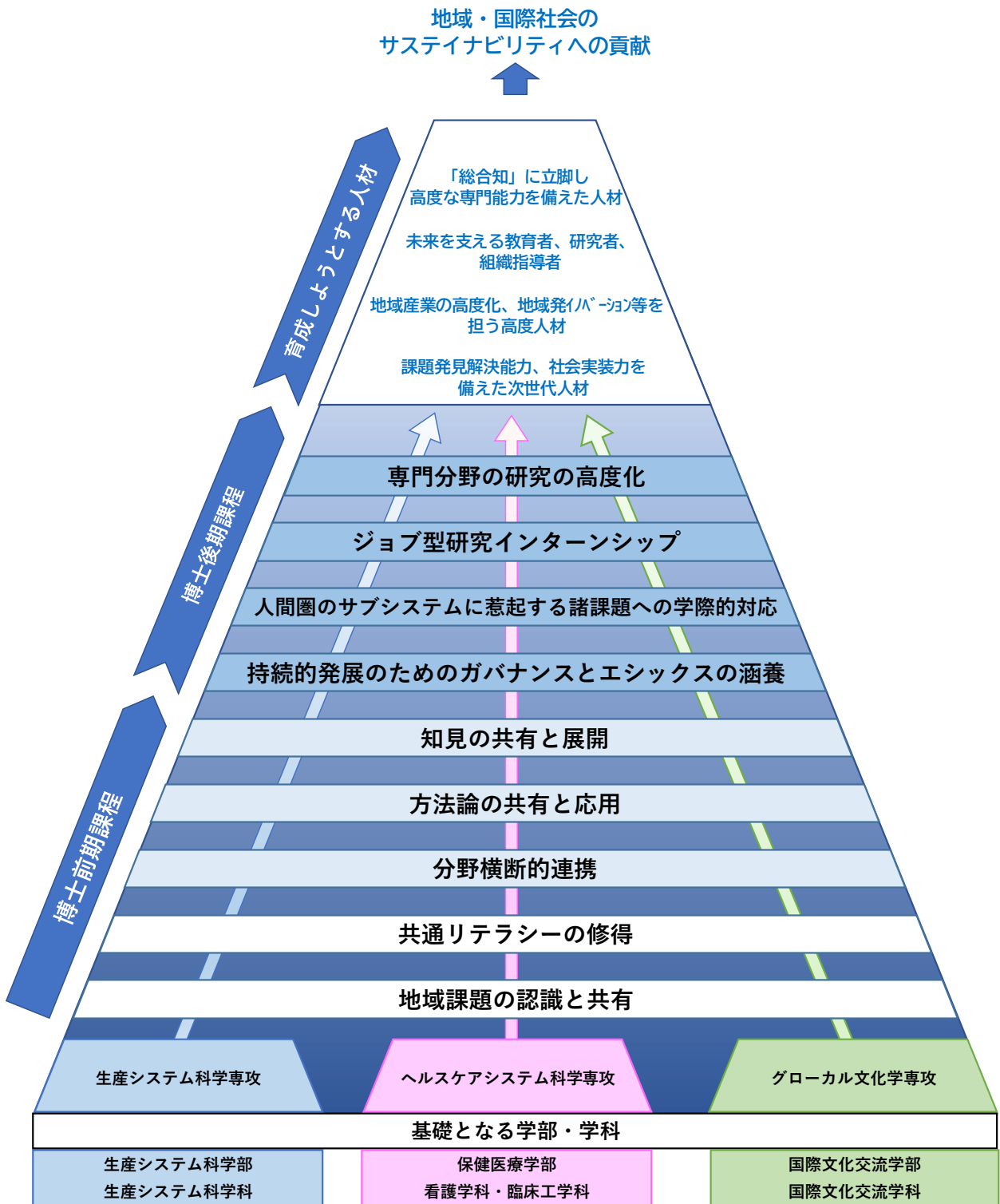
大学院名	研究科名	専攻名	入学金	授業料等
金沢大学大学院	医薬保健学総合研究科	保健学専攻 医学専攻	282,000 円	535,800 円
石川県立看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	(県内) 282,000 円 (県外) 423,000 円	535,800 円

グローバル文化学専攻

大学院名	研究科名	専攻名	入学金	授業料等
金沢大学大学院	人間社会環境研究科	人間社会環境学専攻	282,000 円	535,800 円

●設置場所（アクセス）

- ・栗津キャンパス 石川県小松市四丁町又1番地3 (JR 栗津駅より徒歩で約12分)
- ・末広キャンパス 石川県小松市向本折町へ14番地1 (JR 小松駅より徒歩で約23分)
- ・中央キャンパス 石川県小松市土居原町10-10 (JR 小松駅より徒歩で約1分)



サステイナブルシステム科学研究科博士課程における教育課程編成の考え方

公立小松大学大学院サステナブルシステム科学研究科（博士後期課程）
 設置に関するアンケート調査【社会人用共通対象】
 【入学意向調査結果（企業等）の概要】

1 調査概要

(1) 調査主体

公立大学法人公立小松大学

(2) 調査目的

「公立小松大学大学院（博士後期課程）」の設置に向けて、別途実施した採用意向調査の対象企業等の従業員等を対象に、本学大学院（博士後期課程）への入学意向を把握することを目的とする。

(3) 主要調査項目

- 公立小松大学大学院への興味・関心
- 公立小松大学大学院への受験希望
- 公立小松大学大学院への入学希望

(4) 調査対象

石川県内を中心とする採用意向調査の対象企業等の従業員等（108企業）

(5) 調査実施時期

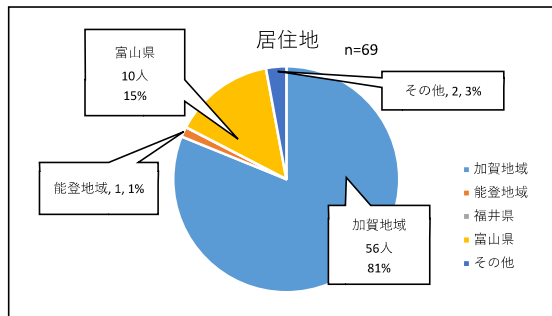
令和4年12月

(6) 回答状況

69人（回答率：64%）

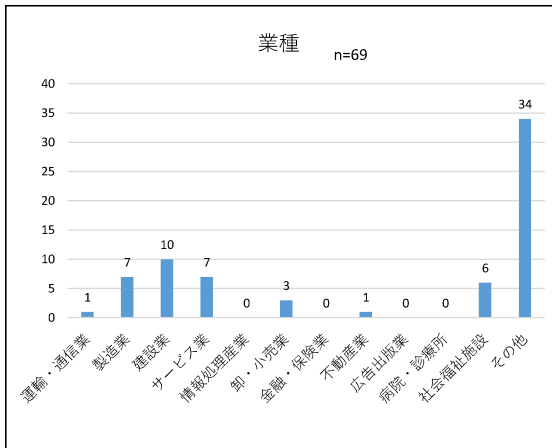
1. 居住地はどこですか。

加賀地域	56
能登地域	1
福井県	0
富山県	10
その他	2
【内訳】	
新潟県	2



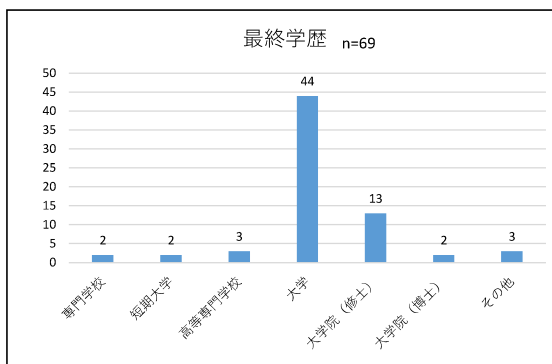
2. 業種はどれに該当しますか。次の中から1つ選んでください。

運輸・通信業	1
製造業	7
建設業	10
サービス業	7
情報処理産業	0
卸・小売業	3
金融・保険業	0
不動産業	1
広告出版業	0
病院・診療所	0
社会福祉施設	6
その他	34
【内訳】	
学校教育関係、大学教員	3
公務員。地方公務員、行政、行政機関、官公庁	26
電気事業	3
各種団体・団体職員	2



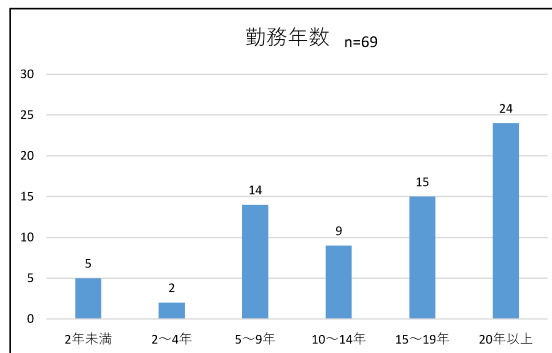
3. 最終学歴を次の中から1つ選んでください。

専門学校	2
短期大学	2
高等専門学校	3
大学	44
大学院（修士）	13
大学院（博士）	2
その他	3
【内訳】	
高等学校	3



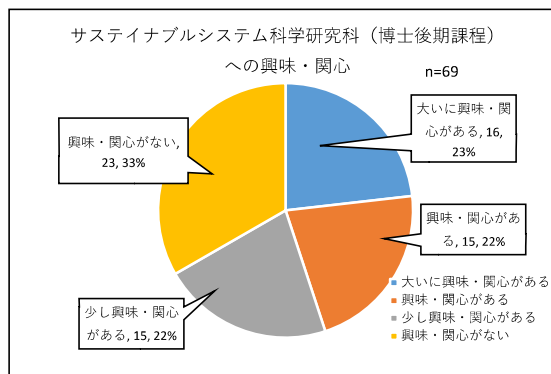
4. 勤務年数を次の中から1つ選んでください。

2年未満	5
2～4年	2
5～9年	14
10～14年	9
15～19年	15
20年以上	24



5. 令和6年（2024年）4月に設置予定の公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科（博士後期課程）についてどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。

大いに興味・関心がある	16
興味・関心がある	15
少し興味・関心がある	15
興味・関心がない	23



※これ以降は、全体の回答者数69人から本学大学院サステイナブルシステム科学研究科（博士後期課程）に「興味・関心がない」の23人を外した人数で「生産システム科学専攻」への入学意向調査結果を表示します。

公立小松大学大学院生産システム科学専攻（博士後期課程）

設置に関するアンケート調査【社会人用共通対象】

【入学意向調査結果（企業等）の概要】

1 調査概要

(1) 調査主体

公立大学法人公立小松大学

(2) 調査目的

「公立小松大学大学院（博士後期課程）」の設置に向けて、別途実施した採用意向調査の対象企業等の従業員等を対象に、本学大学院（博士後期課程）生産システム科学専攻への入学意向を把握することを目的とする。

(3) 主要調査項目

- 公立小松大学大学院への興味・関心
- 公立小松大学大学院への受験希望
- 公立小松大学大学院への入学希望

(4) 調査対象

石川県内を中心とする採用意向調査の対象ものづくり関連企業等の従業員等（78企業）

(5) 調査実施時期

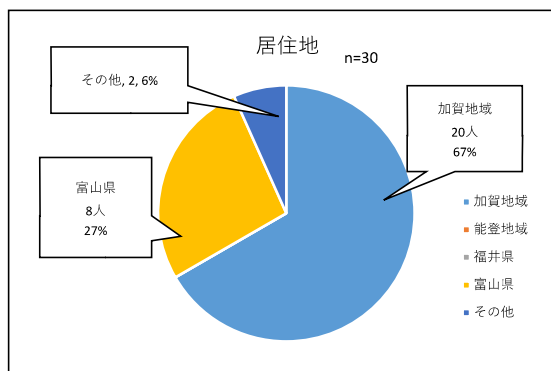
令和4年12月

(6) 回答状況

30人（回答率：38%）

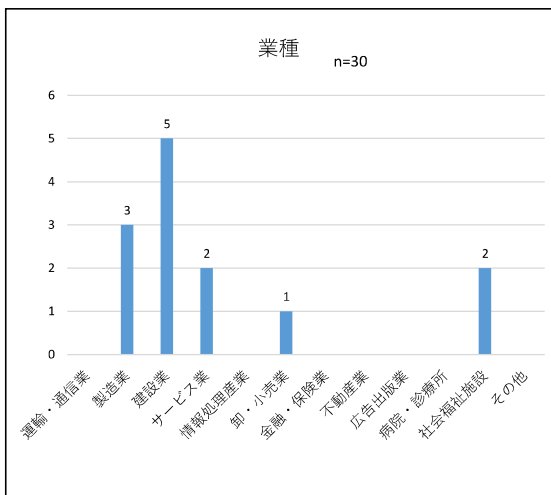
1. 居住地はどこですか。

加賀地域	20
能登地域	0
福井県	0
富山県	8
その他	2
【内訳】	
新潟県	2



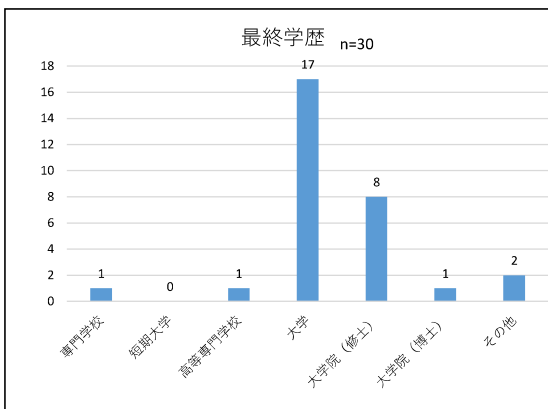
2. 業種はどれに該当しますか。次の中から1つ選んでください。

運輸・通信業	
製造業	3
建設業	5
サービス業	2
情報処理産業	
卸・小売業	1
金融・保険業	
不動産業	
広告出版業	
病院・診療所	
社会福祉施設	2
その他	
【内訳】	
学校教育関係、大学教員	2
公務員、行政、行政機関、官公庁	14
地方公共団体	1



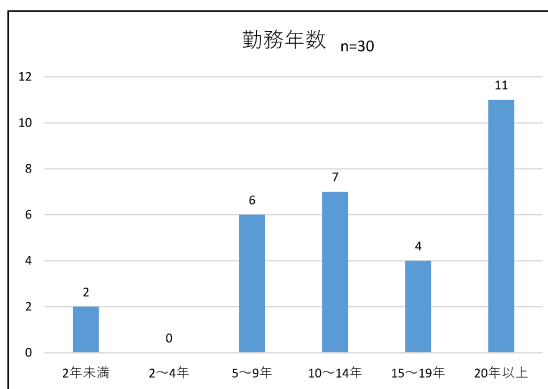
3. 最終学歴を次の中から1つ選んでください。

専門学校	1
短期大学	0
高等専門学校	1
大学	17
大学院（修士）	8
大学院（博士）	1
その他	2
【内訳】	
高等学校	2



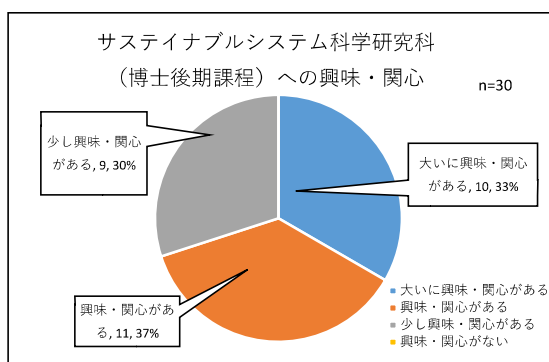
4. 勤務年数を次の中から1つ選んでください。

2年未満	2
2～4年	0
5～9年	6
10～14年	7
15～19年	4
20年以上	11



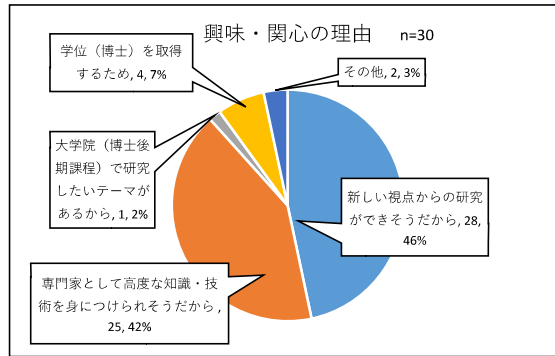
5. 令和6年（2024年）4月に設置予定の公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科（博士後期課程）についてどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。

大いに興味・関心がある	10
興味・関心がある	11
少し興味・関心がある	9
興味・関心がない	0



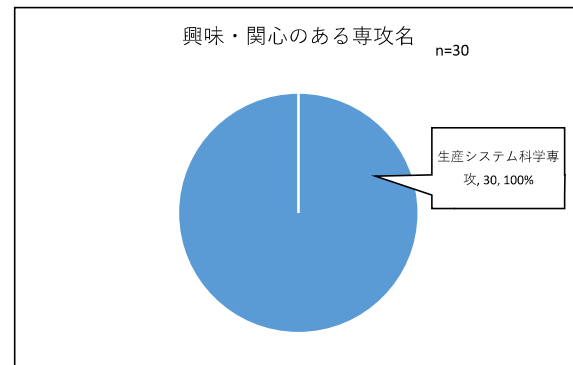
6. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。
それは、どのような理由からですか。次の中から2つまで選んでください。

新しい視点からの研究ができそうだから	28
専門家として高度な知識・技術を身につけられそうだから	25
大学院（博士後期課程）で研究したいテーマがあるから	1
学位（博士）を取得するため	4
その他	2
【内訳】	
地域と連携した最先端の研究に取り組んでもらえる どのような内容か?に興味あり	1 1



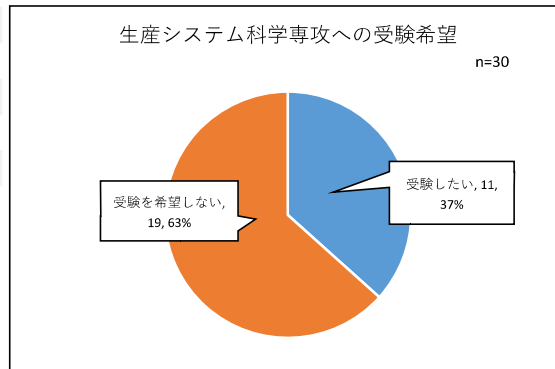
7. 「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「少し興味・関心がある」と回答された方にお尋ねします。
それはいずれの専攻ですか。次の中から1つ選んでください。

生産システム科学専攻	30



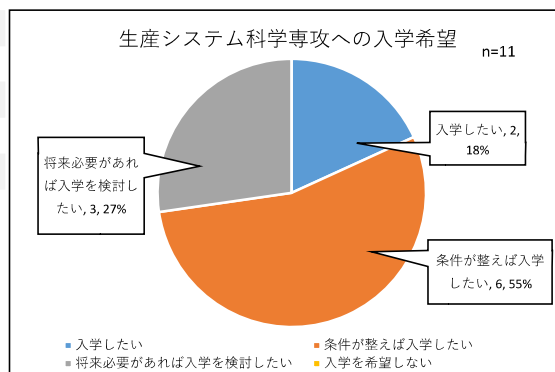
8. 本学に大学院（博士後期課程）が設置された場合、「生産システム科学専攻」を受験したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

受験したい	11
受験を希望しない	19



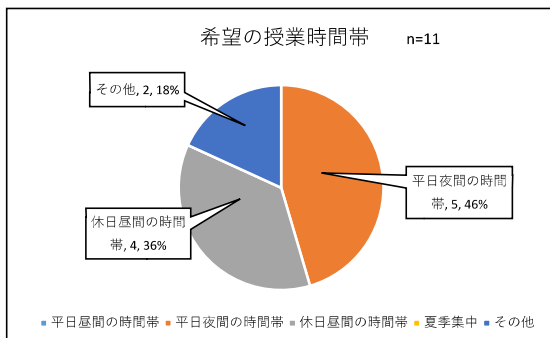
9. 生産システム科学専攻に合格した場合、入学したいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

入学したい	2
条件が整えば入学したい	6
将来必要があれば入学を検討したい	3
入学を希望しない	0



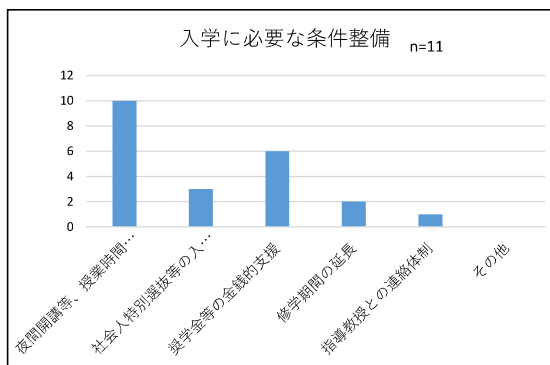
10. 「入学したい」「条件が整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。どのような時間帯に授業を履修したいとお考えですか。次の中から1つ選んでください。

平日昼間の時間帯	0
平日夜間の時間帯	5
休日昼間の時間帯	4
夏季集中	0
その他	2
【内訳】	
その時の状況による	1
休日	1



11. 「入学したい」「条件が整えば入学したい」「将来必要があれば入学を検討したい」と回答された方にお尋ねします。職に就いたままで大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要とお考えですか。次の中から2つまで選んでください。

夜間開講等、授業時間帯の工夫	10
社会人特別選抜等の入学試験	3
奨学金等の金銭的支援	6
修学期間の延長	2
指導教授との連絡体制	1
その他	0



12. 公立小松大学大学院（博士後期課程）の設置計画について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

- 大変素晴らしい計画なので、是非設置を推進して頂きたいと思います。
- 自分の子供が将来、選択肢として選べることはいいことだと思いました。
- 特になし
- 地域と連携し、地域課題の解決に取り組んで頂きたい。
- なし
- 新たな研究環境が整備されるのは良いことだと思います。
- ぜひ、設置が実現した際には入学を検討させていただきたいと考えております。
- 社会人に学問の門戸を広げるためにはよいと思う。ぜひ、進めてより良い大学院にしてほしい。